

ロンゲス錠 5mg ロンゲス錠 10mg ロンゲス錠 20mg

【この薬は？】

販売名	ロンゲス錠 5mg Longes Tablets 5mg	ロンゲス錠 10mg Longes Tablets 10mg	ロンゲス錠 20mg Longes Tablets 20mg
一般名	リシノプリル水和物 Lisinopril Hydrate		
含有量 (1錠中)	5.45mg (リシノプリル無水物 として5mg)	10.9mg (リシノプリル無水物 として10mg)	21.8mg (リシノプリル無水物 として20mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシン変換酵素阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、アンジオテンシン変換酵素 (ACE) の働きを阻害することで、血管を収縮させる作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の生成を抑えることで、血管を拡張させて血圧を下げます。また、末梢血管抵抗を低下させたり循環血液量を減少させたりして、心臓への負荷を軽くすることで、血液の流れを改善させます。

- ・次の病気の人に処方されます。

1. 高血圧症

2. 下記の状態で、ジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が認められない場合

慢性心不全（軽症～中等症）

- ・慢性心不全（軽症～中等症）に使用する場合は、ジギタリス製剤、利尿剤などと併用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にロンゲス錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物を投与中の人、または投与中止から 36 時間以内の人
 - ・過去に血管浮腫を経験したことがある人
 - ・アフレーシス^{*1}を受けている人で、デキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器を使っている人
 - ・血液透析^{*2}を受けている人で、アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜（AN69）を使っている人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・アリスキレン（ラジレス）を使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）
- *1 アフレーシス：患者さんの血液中から不必要な成分を取り除いて、浄化した血液を再び患者さんに戻す方法
- *2 血液透析：患者さんの血液を体外に送り出し、人工腎臓（透析装置）で血液中にたまった老廃物を取り除き、水や電解質のバランスを整え、きれいになった血液を再び患者さんに戻す方法

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

[全ての人に共通]

- ・腎動脈狭窄のある人
- ・高カリウム血症の人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・脳血管に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

[高血圧症に使用する場合]

- ・重い高血圧症の人

- ・ 厳重な減塩療法中の人
- ・ 過度の血圧の低下により心筋梗塞または脳血管に障害を起こす危険性のある人
- ・ 血液透析中の人

[慢性心不全（軽症～中等症）に使用する場合]

- ・ 厳重な減塩療法中の人
- ・ 低ナトリウム血症の人
- ・ 低血圧の人
- ・ 過度の血圧の低下により心筋梗塞または脳血管に障害を起こす危険性のある人
- ・ 大動脈弁狭窄症または閉塞性肥大型心筋症の人
- ・ 腎臓に障害のある人

○この薬には併用してはいけない薬[サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物（エンレスト）、アリスキレンフマル酸塩（ラジレス）]や次のような併用してはいけない治療法があります。

アフエレーシスや血液透析を受ける場合は、必ず医師に相談してください。

- ・ アフエレーシスでデキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いる場合
- ・ 血液透析でアクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜を用いる場合

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

[高血圧症の場合]

[成人の場合]

販売名	ロンゲス錠 5mg	ロンゲス錠 10mg	ロンゲス錠 20mg
一回量	10～20mg		
飲む回数	1日1回		

ただし、重い高血圧症または腎臓に障害がある人は5mgから飲み始めることがあります。

[6歳以上の小児の場合]

販売名	ロンゲス錠 5mg	ロンゲス錠 10mg	ロンゲス錠 20mg
一回量	体重1kgあたり0.07mg		
飲む回数	1日1回		

1日の最大使用量は20mgです。

[慢性心不全（軽症～中等症）の場合]

ジギタリス製剤、利尿剤などと同時に飲みます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ロンゲス錠 5mg	ロンゲス錠 10mg	ロンゲス錠 20mg
一回量	5～10mg		
飲む回数	1日1回		

ただし、腎臓に障害がある人は2.5mgから飲み始めることがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

過度の低血圧があらわれる可能性があります。

立ちくらみやめまいがあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血圧が下がることにより、めまいやふらつきがあらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいることを医師に伝え、医師の指示に従ってください。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
- ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合や妊娠が疑われる場合（月経遅延、つわり症状、基礎体温を測定している場合は高温期の持続）は、速やかに医師に相談してください。
- ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- ・この薬の使用前及び使用中も定期的に医師や薬剤師が妊娠していないことを確認します。
- ・授乳している人は、医師に相談してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

（国立成育医療研究センター）電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？



特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐、下痢、お腹が張る
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中痛み、お腹が張る、吐き気、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス - ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
天庖瘡様症状 てんぼうそうようしょうじょう	全身の皮膚や鼓膜に大小の破れやすい水ぶくれ (水疱) やびらんが多発する
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血がとまりにくい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (SIADH) こうりにょうホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん	けいれん、意識の低下、意識の消失、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	むくみ、体がだるい、体のしびれ、体に力が入らない、体重が減る、発熱、出血が止まりにくい、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる、けいれん
頭部	めまい、意識の低下、意識の消失
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、鼻血
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる
口や喉	喉がつまる感じ、声が出にくい、吐き気、嘔吐、喉が渇く、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血
胸部	息苦しい、息切れ
腹部	強い腹痛、お腹が張る、食欲不振
背中	背中痛み
皮膚	皮膚が黄色くなる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ(水疱)やびらんが多発する、あおあざができる
便	下痢、油っぽい下痢が出る
尿	尿量が減る、尿量が増える、尿の色が濃くなる、

【この薬の形は？】

販売名	ロンゲス錠 5mg	ロンゲス錠 10mg	ロンゲス錠 20mg
形状	蝶形の錠剤 	蝶形の錠剤 	蝶形の錠剤 
PTP	 表面 裏面	 表面 裏面	 表面 裏面
長径	7.5mm	9.3mm	9.3mm
短径	4.5mm	5.6mm	5.6mm
厚さ	2.4mm	3.3mm	3.5mm
重さ	110mg	210mg	220mg
色	白色	白色	淡黄色
識別コード	ロンゲス/5	ロンゲス/10	ロンゲス/20

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ロンゲス錠 5mg	ロンゲス錠 10mg	ロンゲス錠 20mg
有効成分	リシノプリル水和物		
添加物	D-マンニトール、リン酸水素カルシウム水和物、トウモロコシデンプン、アルファー化デンプン、ステアリン酸マグネシウム	D-マンニトール、リン酸水素カルシウム水和物、トウモロコシデンプン、アルファー化デンプン、ステアリン酸マグネシウム	D-マンニトール、リン酸水素カルシウム水和物、トウモロコシデンプン、アルファー化デンプン、ステアリン酸マグネシウム、黄色三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：共和薬品工業株式会社（<http://www.kyowayakuhin.co.jp/>）

お問い合わせ窓口

フリーダイヤル：0120-041-189

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）